

日本留学ネット

# Japan Alumni Global Network

ニュースレター

## 2024年12月号

2024年12月13日発行



2024年

# 日本で話題になった

ニュースを振り返り

## 2024年パリオリンピックにて金メダル数 世界第3位

2024年7月に開催されたオリンピック・パラリンピック。オリンピックでは、日本の金メダル数が20個となり、世界の金メダル獲得数第3位になりました。またパラリンピックでも14個の金メダルを獲得しました。国を代表して奮闘する選手たちに、日本中がエールを送り大変盛り上がりました。



## 20年ぶりに紙幣が変更



日本では20年ぶりに紙幣のデザインが変更されました。新紙幣では偽造対策が強化されたほか、紙幣を識別しやすくするための新たな工夫が施されています。

新たな紙幣は一万円札が「近代日本経済の父」と呼ばれる「渋沢栄一」、五千円札は日本で最初の女子留学生としてアメリカで学んだ「津田梅子」、千円札は破傷風の治療法を開発した細菌学者の「北里柴三郎」の肖像がデザインされます。

## 日本初の月面着陸成功

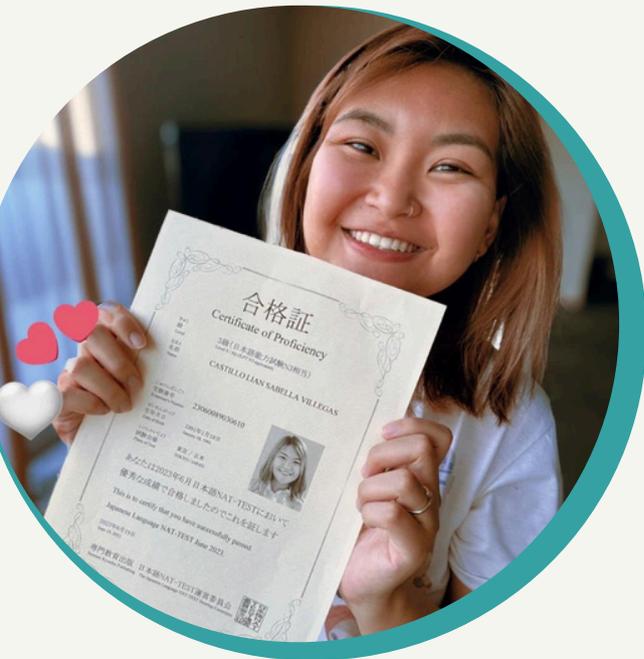
SLIMは「月の狙った場所へのピンポイント着陸」、「着陸に必要な装置の軽量化」「月の起源を探る」といった目的を小型探査機で月面にて実証する探査計画です。

2023年9月にSLIM、小型月着陸実証機が鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられ、2024年1月に日本初となる月面への軟着陸を達成しました。



## 元留学生の体験談をご紹介します！

日本で就職活動をしていた  
元留学生の体験談をご紹介します！



- プロフィール
- ・ 名前：Lian Sabella Castilloさん
- ・ 国籍：フィリピン



### 就活中に直面した困難や挑戦

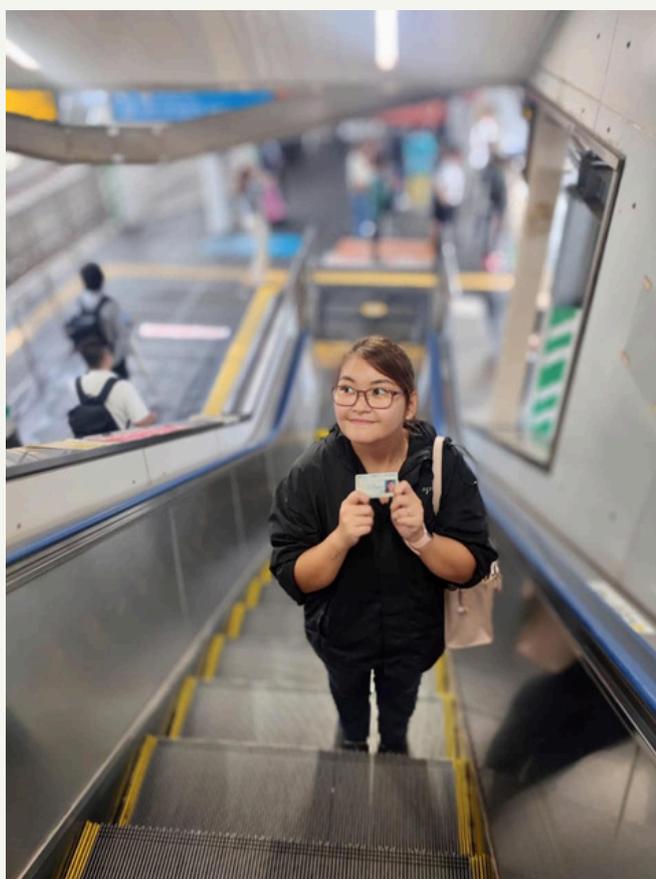
私の名前はLian Sabella Castillo、33歳 女性、フィリピン人です。2015年の後期にJASSOの奨学金を受け来日し、その後社会的に意義のあるプロジェクトに参加すべくフィリピンに帰国しました。現在は中途採用でインフラ系エンジニアとして働いています。転職の前には7年近くIT業界での経験がありました。2021年7月に文部科学省の奨学金を受けて再度日本に留学し、2023年2月から就職活動を開始、5か月後の2023年7月に採用が決まりました。

企業によっては5回や7回も面接が続くことが非常にストレスでした(大手外資系会社で10回も!)。学生時代のうちに少なくとも6か月は就職活動に必要なのが日本では一般的であると聞きました。5か月間、毎日1度か2度の面接を受ける日々でした。ある時は1日に3回も面接が重なってしまい、自分の限界を超えていたのでそれ以降はスケジュールリングにもっと気をつかうようになりました。母国のフィリピンでは大体1回から3回の面接が終われば1, 2か月以内に内定が決まります。しかし、日本では従業員を総合的に保護するという意味からもより厳正な選考が行われるのだと感じます。

日本でもう一つ驚かされたのが人材派遣会社の利用が一般的であるということです。このため、派遣型の雇用（派遣社員）を勧められることも多々あり私自身も何度かこのような仕事を提案されました。日本にはアルバイト、契約社員、派遣社員、正社員と多くの雇用形態があります。また、在留資格の種類によって仕事の内容が異なることや、雇用する会社によって条件が異なることがありますので、就職先の会社と慎重に確認することが必要です。

### これから就活をする留学生へのアドバイス

1番のアドバイスは何より日本語を学ぶことです。語学に対して検定を受けられるのなら、それも必ず行ってください。面接を受けるために証明書を求められることが多々ありました。私は、修士課程の同期から勧められ、JLPTよりも年間での受験機会の多いNATを受けるようにしました。彼は更に頻度の高いJPTを受けていました。例え、検定試験を受けないとしても面接中は少しでも日本語を話そうとする姿勢が役に立つでしょう。少なくとも自己紹介は日本語で出来るように準備しましょう。



## 現役留学生の体験談をご紹介します！

日本で研究を行っている  
現役留学生の体験談をご紹介します！



### ■プロフィール

名前：ホアン・カルロス・ネイラ・アルマンサ

大学院：筑波大学

国籍：コロンビア



### 日本での研究について

みなさんこんにちは。私の名前はホアン・カルロス・ネイラ・アルマンサです。今日は機械学習をEEG(Electroencephalogram)睡眠記録の分析に適用することに焦点を当てた私の研究について詳しくお話したいと思います。これらの用語に馴染みがなくても心配は不要です。これから詳しく説明します。

昨今、特に競争力を追求する企業や組織の間で、AIが話題になっています。しかし、多くの方がAIと呼んでいるものは実際には機械学習を指し、より広範囲なAI分野のごく一部にすぎません。この傾向は、2023年1月にChatGPTが登場したことで勢いを増しました。ソフトバンクの創業者である孫正義氏は、昨年10月のスピーチでこの変化を強調し「AIを活用するか、取り残されるかのどちらだ」と述べました。しかし、AIとは企業だけのものではありません。多くの一般個人もその力と多用途性をChatGPTのようなツールを通して利用することができます。文章の生成だけでなく、画像や動画の作成にも活用できます。個人的に、私は仕事でも趣味においても熱心なChatGPTユーザーです。文章を校正したり、ソースコード（コンピュータープログラム等のための）を改善したり、一般的な疑問を解決したり、ロールプレイングに使用したりもします。素晴らしいツールだと思うので、ぜひ皆さんにも試していただきたいです。

ChatGPTはAIの機能の中で最も良く知られた例ですが、モデルのうちの1つのタイプにすぎません。ChatGPTはLarge Language Models＝大規模言語モデル (LLM) というモデルファミリーに属しており、大規模なデータを使用した広範なトレーニングに基づいてテキスト情報を分析及び生成するのに特化しています。その他のConvolutional Neural Networks＝畳み込みニューラルネットワーク (CNN) や Recurrent Neural Networks＝回帰型ニューラルネットワーク (RNN)は画像や信号の分析に使用されます。

私の研究では、睡眠中の脳波の自動分析のために、畳み込みニューラルネットワーク (CNN) を基にしたモデルを開発しています。これらの記録は、患者の睡眠中の脳波を投影します。これらの波形パターンは慣れない人にはランダムに見えるかもしれませんが、実際には特定の睡眠ステージに関する貴重な情報が含まれており、覚醒障害などの異常を明らかにすることさえできます。

睡眠分析への機械学習の導入は決して最近始まったものではありません。少なくともここ20年間にわたり研究されてきました。しかし、私のプロジェクトの革新的な面はマルチタスク学習（複数のタスクを同時にモデルにトレーニングすることにより、ポータブルデバイスから取得したEEGの覚醒の検出の精度を上げることが出来ることです。

私が達成した有望な結果は、最近第12回国際医療情報学会議で論文として発表されました。

現在、私はこのモデルを更に改善し回帰型ニューラルネットワーク (RNN)など他の構造を探求することに取り組んでいきます。

この記事では、機械学習と睡眠研究の概念を説明しながら私のプロジェクトを紹介しました。この記事を通じてこれらの分野に興味を持ってくださったら幸いです。

最後に、より機械学習とEEGについて理解を深めるための記事を2つご紹介します:

1. [Machine learning:Trends, perspectives, and prospects](#)

2. [100 Years of EEG](#)

私たちはAI時代の幕開けに直面しています。これを人類と機械との戦争の序章と見る人もいるかもしれませんが、私自身はこれを希望の兆しとしてみています。AIはインターネットと同じぐらい革命的であり、情報伝達を加速し今後何年にも渡って進歩を後押しし続けるものだと思っています。

## 『外国人留学生のための就活ガイド』のご紹介

JASSOでは毎年、『外国人留学生のための就活ガイド』を発行しています。留学生が日本国内で就職活動を行うにあたり、日本独特の就職活動や採用スケジュールに戸惑われることもあるでしょう。留学生の日本での就職者は増加傾向にありますが、いつから準備が必要か？現場で求められる日本語の能力は？面接の対策は？など様々な疑問があると思います。

留学生の就職活動の現状を知り、何よりも日本企業の留学生採用ニーズを知っておくことは、就職活動に取り組む上で欠かせないことです。『外国人留学生のための就活ガイド』では、就職活動で留学生が直面する事柄について、詳しく、分かりやすく説明しています。

例えば、いつ・どんなことをするのか、業界・企業研究等の就活の準備や応募書類の作成、採用試験の準備、在留資格の変更、就活の体験談等まで取り上げていますので、この1冊で網羅的に就活に関連する情報をカバーすることができます。

『外国人留学生のための就活ガイド2026（日本語版）』の主な内容

- ・日本で就活（就職活動）を始める前に
- ・就活の準備
- ・エントリーから書類選考まで
- ・採用試験・内定から入社まで
- ・在留資格の変更
- ・就活体験談

『外国人留学生のための就活ガイド2026（日本語版）』は、下記URLにてPDF版をダウンロードできます。

（冊子版の送付は2025年2月末より開始予定）

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after\\_study\\_j/job/guide.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html)

また、2026年版の英語版のPDF版は同URLにて2月末ごろからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

留学生の就職についてはこちらのページもご活用ください。

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/job/employment/>

### 『外国人留学生のための就活ガイド2026』



日本で就職を希望している人は、まず自分が所属している大学（学校）のキャリアセンターや、国際交流センターにも相談してみましょう。

## 留学生、元留学生を対象とする支援事業のご紹介

JASSOでは帰国した留学生の支援も行っています。

今回は『帰国外国人留学生短期研究制度』についてご紹介します。

2025年度の募集は終了していますが、過去に採用された方のレポートをご覧いただければ今後の参考になるでしょう。

### ■帰国外国人留学生短期研究制度

日本で留学を終え、教育や学術研究、あるいは行政の分野で活躍している帰国留学生を対象とした制度です。日本への渡航費と滞在費を補助することで、改めて来日いただき、留学当時指導していた教員と共に日本の大学で短期研究を行います。

- 2024年度採用人数：27名
- 2025年度採用人数：25名程度（予定）

帰国外国人留学生短期研究制度採用者のレポートはこちら

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after\\_study\\_j/tanken/report/index.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/tanken/report/index.html)



## 世界へ広がる、日本で学んだチカラ

日本で留学をしていた元留学生が、日本の留学経験を生かして  
母国でどのように貢献しているかをご紹介します！



### ■プロフィール

名前：ジョン・シンティ・ムセレ

国籍：ケニア



### 日本での留学経験について

私の名前はジョン・シンティ・ムセレです。JASSOの奨学金受給者として2013-2014年に長崎大学に留学していました。この記事では、日本での学生時代の経験についてお話ししたいと思います。

さまざまな国籍の学生たちと一緒に、母国とは異なる文化的、社会的環境で彼らと一緒に勉強することは素晴らしい経験でした。

新しい日常、新しい異文化環境、新しい学習環境に適応するには時間がかかりました。最初の3か月間、自宅で日本食を作ることはできませんでしたが、コンビニエンスストアに行って牛乳とスナック菓子を買いました。それらは食べやすく、健康的で甘いと感じました。3か月後、仲間の学生や友人から日本食を紹介してもらいました。私は日本食の味を覚え始めました。麺類と豚汁は、とても美味しく健康的だと感じました。私がよく食べたメニューは、米、牛肉などでした。牛乳は格別に甘かったので、ケニアの伝統的な食べ物も恋しくありませんでした。

## 長崎大学での生活

交換留学生として長崎で人文社会科学を学んでいた間、私は多くのことを学びました。特に印象深いのはソフトウェアであるSPSSを使用した統計データ分析についてです。担当教師は素晴らしかったです。出来ることならば2014年以降もその受講を続けたかったです。

長崎大学は知識の普及において並外れたリーダーです。個人学習と授業プログラムを通じて、幅広い研究分野に触れることができました。さまざまな分野を研究し、理解するために利用できるツールの使用方法を学びました。コンピューターを使用して学習した経験がなかったので、コンピューターの使用は私にとって目を見張るものでした。そこで得た知見により、世界を異なる視点で見る機会が得られ、自分自身の成長と、その後のキャリアの向上につながりました。

大学のスタッフは親切で、迅速に仕事をするプロフェッショナルでした。

長崎大学には、多くの学術分野についての知識を得るのに役立つ最新の学習施設がありました。長崎大学とその街は、住むのに安全な場所です。住んでいる間に身の危険を案じたことは一度もありません。長崎の街は非常に素晴らしいです。

街中を歩くと良いショッピング体験ができ、英語や基本的な日本語で私と交流してくれる、話好きな地元の人たちと言葉を交わすことは私にとって良い経験でした。

公共交通機関は最高でした。駅を出入りする路面電車やバスはいつも定刻通りです。



## 日本での留学を終えた後

1年の留学を終えた後、私はケニアに戻り、大学4年目を終了して理学の学位を取得し、やがて仕事探しを始めました。求人に応募し、職場環境から生じるどんな困難にも耐えられることを説明したころ、上司は私が日本で勉強したことを知ってとても興奮した様子でした。彼らは私の経験を熱心に聞きたがり、多くの人から評価を得ました。就職先はすぐに決まりました。3か月の産業研修後、ケニア税務当局でデータアナリストとして、その後は人事管理スペシャリストとして就職の機会を得ました。2018年に日本に戻って国際大学で公共政策と経営を学ぶために奨学金を申請しようとしたのですが、十分な資金を集めることができず、日本に再び留学することは叶いませんでした。

短期留学プログラムを修了したことは、私にとって忘れられない経験です。知識が豊富なだけでなく、親しみやすく、私の研究とキャリアを真剣に指導してくれる世界クラスの教授陣から学ぶ経験は、かけがえのないものでした。献身的なスタッフのサポートにより、すべてがスムーズに進みました。クラス内の多様性は大きな強みでした。27か国以上からの仲間と毎日交流することで、学びが豊かになり、視野が広がりました。自然に囲まれた静かな環境で生活することで、四季（春、夏、秋、冬）の美しさを堪能することができました。

長崎はまさに学びに最適の場であり、長崎で得た知識と築いた人間関係は、私がその後、学校に行くべき年齢の児童が家畜の世話や農業をするのではなく、学校に通えるように促すなど、地域の問題を解決するのに役立ったと感じています。

私は長崎で統計学のコースを受講し、統計データ分析ツール（SPSS）の使い方を習得し、その価値を認識することができました。また、日本社会から、敬意、誠実さ、時間厳守を学びました。特に衛生管理は、長崎で学んだ、貴重な概念の1つです。清潔な環境は、人間の健康と発展にとって非常に重要であり、私はそれとともに生きていきたいと考えています。長崎大学での学習は非常に進歩的で、その経験が自国の国造りに貢献することに生きています。



## 留学生会のご紹介

日本で活動をしている外国人留学生の団体をいくつかご紹介します。日本在住の方は気になる団体があれば、ぜひ問い合わせや参加等してみてくださいね！

### ■Singapore Students' Association Japan (シンガポール)

在日シンガポール学生協会は、日本の教育機関に在籍するシンガポールの学生のために、つながりを持ち、支援するための団体です。年間を通じて、ハリラヤ、ディーパバリ、旧正月などシンガポールの文化的な祝祭のイベントを開催しており、また、年に二回の「先輩後輩プログラム」を実施しています。このプログラムでは、日本での学生生活に慣れるために、新しく来た学生と経験豊富な先輩をペアにしてサポートしています。その他にも、外部の組織と協力して、学生が異なる文化について学び、就業体験を得る機会を提供しています。詳細は、当協会のウェブサイト [ssaj.net](http://ssaj.net) をご覧いただくか、[general.ssaj@ssaj.net](mailto:general.ssaj@ssaj.net) までお気軽にお問い合わせください。

ウェブサイト



メールアドレス: [general.ssaj@ssaj.net](mailto:general.ssaj@ssaj.net)



## ■Pakistan Students Association Japan（パキスタン）

パキスタン学生協会（PSAJ）は、日本に住むパキスタン人学生の支援のために2002年に設立されました。協会は、会員から選出された日本のさまざまな大学に在籍する7人の現役学生と、パトロンとして指導とサポートを提供する1人の卒業生の計8名で構成される委員会によって運営されています。

▼我々のパキスタン人学生への主たる支援の目的:

1. 日本への留学を目指す学生への入学に向けた指南
2. 日本で新たに生活を開始する留学生へのサポート

これに加え、PSAJでは日本の学术界やPSAJ卒業生、その他の国の元留学経験者の講演者を招き、以下のようなテーマで知見を深めるウェビナーやセッションを毎月実施しています。

- ・日本での生活とキャリア
- ・日本の就職市場の理解とそれに向けての準備
- ・学術研究

2024年度は、日本での進学のコツやPSAJのセミナー、日本での生活や就職活動への適応方法を議論する場など多くの有益なセッションが開催され、今後もさらに多くの企画が用意されています。

お気軽にご連絡ください。

Email: [pakistanstudentsassociationjap@gmail.com](mailto:pakistanstudentsassociationjap@gmail.com)

Facebook: <https://www.facebook.com/PSAJ.Official/>

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/psajapan/>

Facebook



LinkedIn



## 編集部より

日本留学ネット・Japan Alumni Global Network ニュースレター 2024年12月号をお読みいただきありがとうございます。

JASSOでは、留学生や元留学生の皆さんに役立つ情報をお届けするFacebookの投稿の一環として年1回ニュースレターを発行しています。

今回のニュースレターでは、2024年の日本のニュース、日本での就職・キャリア情報、元留学生の皆さまの活躍や活動を紹介しましたが、いかがでしたでしょうか？日本での留学を思い出していただけましたか？

Facebookページ日本留学ネット・Japan Alumni Global Networkでは、日本に留学された元留学生の皆さん同士のネットワークの広がりや、日本との繋がりを長く保てるように、最新の日本の話題や元留学生の活躍、日本での就職に関する情報を投稿しています。読者からのコメントも表示されていますので、留学時代を思い出したり、在籍していた大学や旧友と再度交流するきっかけに役立てていただければ嬉しいです。Facebookの投稿についても、是非とも御覧ください！



発行者

独立行政法人日本学生支援機構

留学生事業部 国際奨学課

フォローアップ・キャリア支援係

E-mail : alumni-newsletter@jasso.go.jp